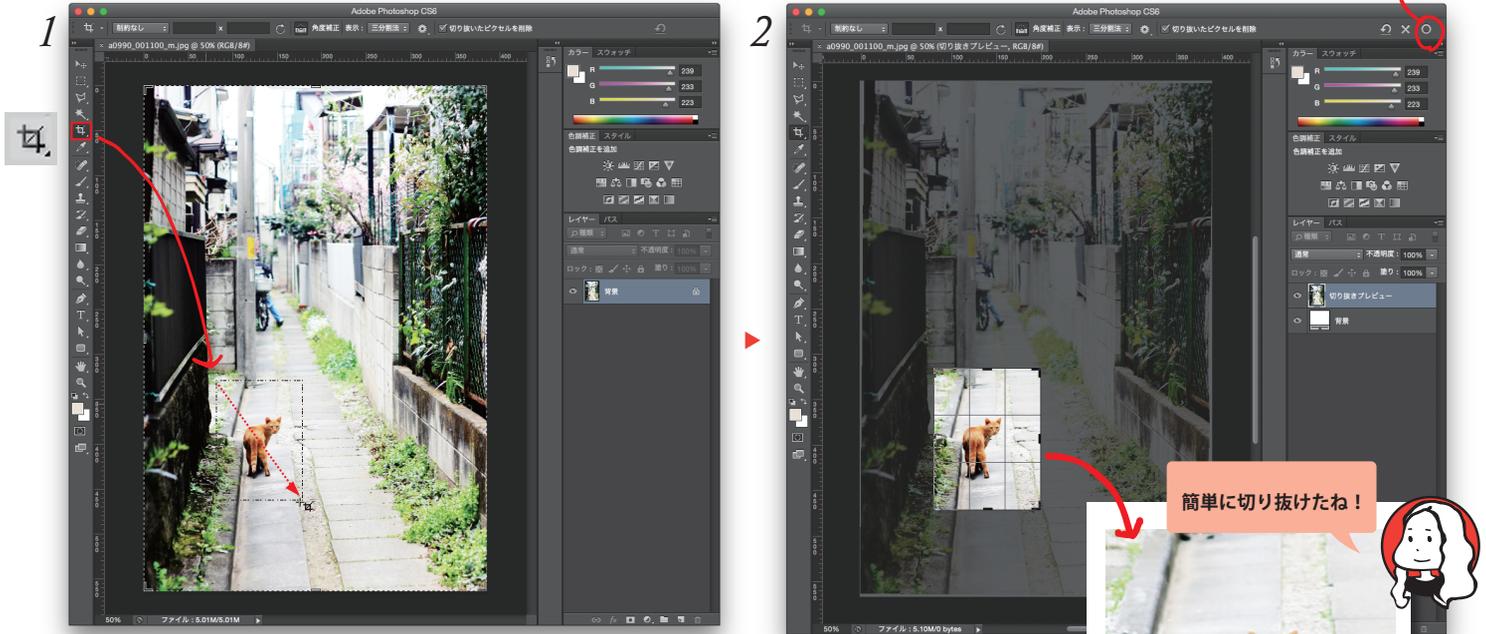


# 切り抜きツール / 切り抜きツールの注意点 (解像度)

切り抜きツールは画像を任意の大きさに切り抜くことのできるツールです。  
解像度を保ちつつ画像のサイズを変えたい時は注意が必要です。

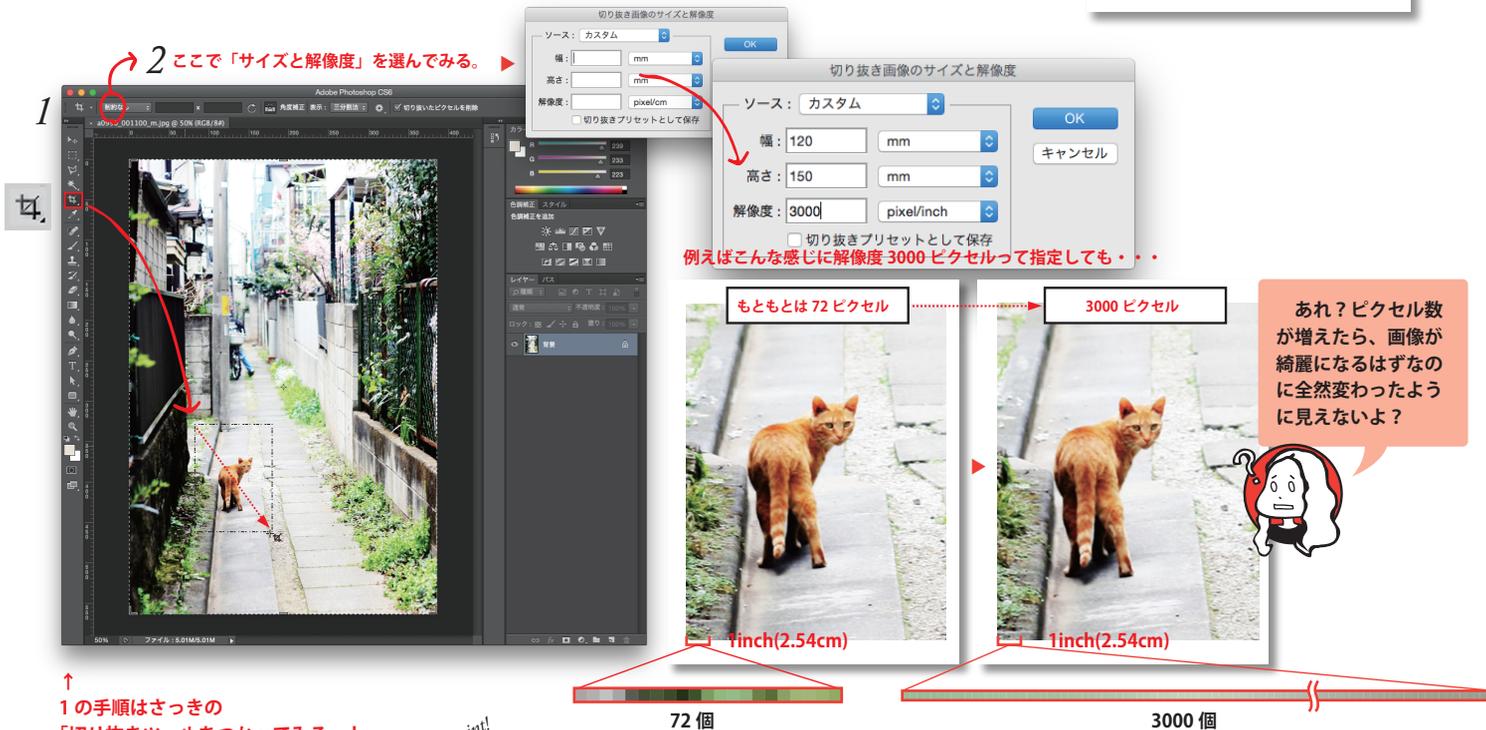
## ●囲ったところが切り抜ける【切り抜きツールを使ってみる】

3 ○ボタンもしくはreturn(ENTER)キーで確定。



## ●大きさと解像度を指定して【切り抜きツールを使ってみる】

解像度とは画像の細密さを表す尺度です。  
Photoshopで見えている写真は、拡大していくと小さな粒（ピクセル）の集まりでできています。  
粒が細かく密度が高いほど、高画質、つまり解像度が高いことになります。  
では、小さい写真をむりやり部屋の壁紙くらいに引き伸ばしたらどうなるのでしょうか。  
これは、写真がガビガビになってしまいます。  
解像度はあとから大きくすることはできないことが鉄則です。でも、数字上ではいくらでも大きい数を打ち込めるという罫も。



↑  
1の手順はさっきの「切り抜きツールをつかってみる」と同じです。



72個のピクセルを3000個に増やそうと思ったら、Photoshopの機能としてグラデーションで埋めていくしかないんだね。だから、数は増えるけど、写真自体がクリアになったり、綺麗になったりはしないんだよ。数値では入力できて、実際は隙間を埋めるだけのデータだってことを覚えておこう！